

教育のフロンティア

NO. 193

2013.6-7月

NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> →変更:www.hokjioka.net E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

定価:250円、年額:3,000円(送料込)
*会員は会費(支援金)を含む



《写真説明》6/21:釧路
教育大学生と余市教育福
祉村「農業体験」～農場畑
でマリゴールド 200 本植え。
丘からはソノ岬を遠望。

INDEX

P1:巻頭言 (+P3)

P2-:ヒューマンラスト/
普及活動、取組み他

p4-5:「大学生実習」、
授業/数学、地学、環
境、星座、表現/花笠

p6-7:教育実践より
農業、行事/余市レク

p8:スケジュール他

ありがとう ～教育大学釧路校の実習生達に～

NPO 法人相談役 鈴木 秀一

今回は、5つの授業と余市宿泊行事をやっていたただけでなく、私の「夕鶴」の授業にも参加してくださって、大変、ありがたく思っています。「夕鶴」の授業については、月寒スクールの子どもたちとスタッフ相手に4時間ほどやってきていて、最後の2時間を皆さんと一緒に形にしたのでした。この授業実践は、なんとかレポートにまとめて、この夏、8月1日、2日に小樽の共育の森学園本部(旧小樽短大)を会場にして開催される北海道民間教育研究団体連絡協議会(道民教)の第52回合同教研集会の第1分科会で発表しようと考えています。

私は、この道民教の結成や発足の第1回研究集会からかかわってきていて、ここ数年は、レポートをもって参加することを続けています。この道民教の歴史なども、語りたいのですが、いまは省略して、「夕鶴」について少し話をさせてもらいます。私は北大の教師になったのが昭和33(1958)年で、そのころから主として授業研究という教科学習を対象とする研究を、実践家とともに行ってきました。私が属した研究室は以前は「学校教育研究室」のちに「教育方法学研究室」で教官は3人、協力する研究者は教育大などの数人の研究者、そして大学院の人たちとゼミ所属の学生さん10人ほどからなるグループで、そこで研究や教育をやってきたわけです。このなかで、 [3ページに続く]

(1998年から続く釧路教育大教育内容方法研究室による自由が丘スクールへの総合型実習。本年度第1回検討会より引用)